

9月11日（月）、1年1組で国語科の努力点公開授業が行われました。

単元は「なつのおもいでを はなそう」です。この単元の最後には、「夏休みの思い出発表会」を開きます。今回の授業では、発表会に向けて、よい話し方のポイントを意識して話すことができるようにします。

初めに、発表の動画を観ました。この動画は、1年生の担任が、夏の思い出について話している様子を録画したものです。動画では、原稿を見てばかりで相手の顔を見ていなかったり、声が小さかったりと、思い出が伝わりづらい発表となっています。その後、教師が、「今の発表の、よくないところを考えてほしいです」と投げ掛けました。



【モニターに動画を映す様子】

すると、児童は、「人の目を見ていない」や「姿勢がだらんとなっている」などと発言し、よい話し方のポイントにつながるヒントに気付くことができました。そして、よい話し方のポイントについて考えました。すると、「人を見る」や「はきはき話す」、「姿勢をよくする」という意見が出ました。



【意見を発表する児童】

次に、いくつか出たよい話し方のポイントの中から、今日、自分が頑張りたいことを考え、ワークシートにめあてとして書かせました。このように、児童一人一人が自分を振り返って、頑張りたいことを選択することは、個別最適な学びです。どの児童にも得意不得意はあります。そこへ、全員に同じめあてを与えるのではなく、それぞれが必要なめあてを自分で立てさせることが大切です。

いよいよ、児童はそれぞれに決めためあてを意識して発表の練習をしました。グループで順に発表し、聞き手はめあてができていれば手で○を作って伝えました。そして、上手にできた児童は、自分で新たなめあてを追加しました。



【発表の練習をする児童】

練習後、振り返りをしました。めあてが達成できたという児童がたくさんいました。そして、今回の練習を踏まえて、本番の発表会で頑張りたいめあてを考えさせました。新たにめあてを追加する児童もいれば、今回のめあてを継続しようとする児童もいました。どの児童も、よりよい発表ができるように、自分なりのめあてを立てることができました。

これからの授業は、一人一人が自分のめあてを立てたり、学習の進め方を決めたりして、個別最適な学びを進めていくことが重要視されています。そのためには、学習の振り返りが大切です。振り返りで見つけた自身の課題を次のめあてとして立て、また振り返るといいう「めあて→振り返り→めあて→振り返り→・・・」という学習の流れを身に付けさせ、自律して学び続けられるように授業改善をしていきたいです。